

9月14日（月） おやつ屋さん

どの向きにしたら、お客さんがよく見えるかな？

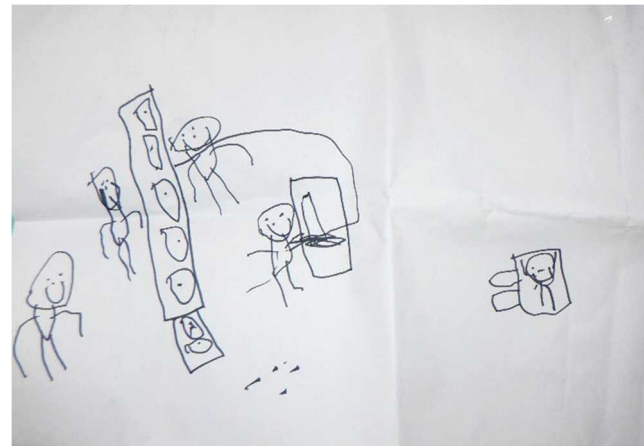
相手のことを考えながらお菓子を並べています

机はどこに置く？

クラスの友達と相談しながら場所を決めていきます



素敵な看板もできました♪



バス遠足に向けて、クラスみんなで考えておやつ屋さんをしました。



「おやつ屋さん、楽しみ♪」

ペアのお兄さん・お姉さんが
いることで、**3歳児も安心**です。

「こっちに、おやつがあるよ！」

手をつなぎ、優しく教えて
くれています



「このお金で払ったらいいよ。」
「ありがとう！！」

お金を持ってきていなかった4歳児に
5歳児がつくったお金を渡してくれました。



「おやつ屋さん、楽しかったね。」
「またしたいね。」

**片付けも5歳児が
最後までしました。**

9月16日（水） バス遠足（琵琶湖博物館）



クラスの友達や先生と乗って
遠足に行くことを楽しみに
していました。



琵琶湖博物館の魚たちのトンネル
「わ～、きれい！！」
「魚の大きさが違うね！」

魚たちの泳ぐ姿から感じたことを
表しています。



「あの魚は上を泳いでいる！！」
「こっちは下の方を泳いでいるね！」

**種類によって泳ぐ場所の違いに
気付いたようです。**

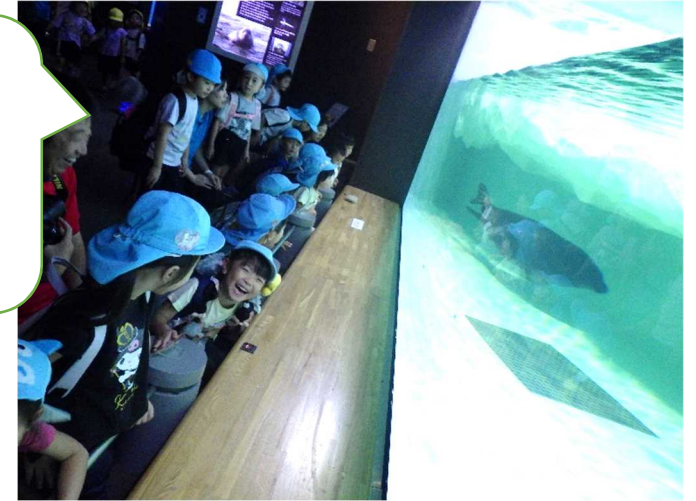


大型バスに乗って、琵琶湖博物館に行きました。



「爪が分厚い！！」
「目がクリンクリンだね♪」

アザラシと目が合って**感じたこと**や
自分の爪との**違い**にビックリしたようです。



「口の中ってザラザラしてるね！」

目で見ただけでは分からないことを、
模型を**触れてみる**ことで気づきが広がっていきます。



ビワコオオナマズやアザラシ等、たくさんの生き物を見ました。
園内ではできない経験をし、次の日には表現活動を楽しみました。

3歳児は初めての園外ということもあり、
安心できるよう親子で行きました。

同じものを一緒に見ることで、
感じたことを**共感・共有**することができ、
より会話が広がっていきました。



「お魚、いっぱいいる〜！！」
「かわいいね♪」

クラスの友達と一緒に**同じものを見る**ことで、
次の日、登園してきてからも
琵琶湖博物館の話題で話が盛り上がりました。

お家の人とおにぎりや、
前日に買った『おやつ』を食べました。

「おいしいね！」
「おやつどうやって買ったの？」等、
親子での会話も広がっていきました。

